

2011年5月期(第13期) 決算補足資料

2011年7月13日(水)

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。



ヤフー株式会社 契約代理店



グーグル株式会社 正規代理店

アウンコンサルティング株式会社

© 2011 AUN CONSULTING, Inc. All Rights Reserved.

【1】決算概要

- ・ 2010年 6月 アウン台湾マーケティング設立
- ・ 2010年 6月 アウンタイラボラトリーズのBOI認可取得
- ・ 2010年 7月 フラクタリストと協業
- ・ 2010年 8月 連結子会社(現シトラスジャパン)MBOによる全株式譲渡
- ・ 2010年 9月 アウンコリアマーケティング設立
- ・ 2010年 9月 アウン香港マーケティング設立
- ・ 2010年11月 アウングローバルマーケティング(シンガポール)設立
- ・ 2010年12月 コムスコアと正規販売代理店契約
- ・ 2011年 3月 アウン沖縄ラボラトリーズの解散及び支店化
- ・ 2011年 4月 バイドゥ(百度)の優秀代理店として表彰
- ・ 2011年 4月 マルチリンガル旅行・生活情報予約サイトを「More」へブランド名変更

クリエイティブ事業を担っていた当社連結子会社が連結対象から外れたことが影響
売上高 2,104百万円 (対前年同期比率 23.8%)

国内において、高付加価値サービスへの転換遅れが影響
売上総利益 368百万円 (対前年同期比率 33.6%)

ローコストオペレーションを図るものの売上減少分を補えなかったことが影響
営業損失 180百万円 (前年同期営業損失 170百万円)

決算概要 > 2011年5月期 損益計算書

売上総利益：売上高の減少 655 / 仕入の減少 298 / 製造原価の減少 174
 特別損失：子会社株式売却損16

	実績		前年同期比	
	11/5期-4Q (連結累計)	10/5期-4Q (連結累計)	増減額	増減率
売上高	2,104	2,760	655	23.8%
売上総利益	368	555	186	33.6%
売上総利益率(%)	17.5%	20.1%		
販管費	549	725	176	24.3%
販管费率(%)	26.1%	26.3%		
EBITDA	164	98		
営業利益又は営業損失	180	170		
営業利益率(%)				
経常利益又は経常損失	182	170		
経常利益率(%)				
当期純損失	227	276		
純利益率(%)				
EPS(円)	3,147.79	3,811.70		

(金額単位:百万円)

決算概要 > 2011年5月期 貸借対照表

流動資産：現預金の減少 212

固定資産：有形固定資産の減少 7

固定負債：退職給付引当金の減少 12

	実績		前年同期比	
	11/5期-4Q (連結)	10/5期-4Q (連結)	増減額	増減率
流動資産	868	1,294	426	32.9%
現預金	646	858	212	24.7%
固定資産	174	184	9	5.2%
有形固定資産	26	34	7	22.6%
無形固定資産	36	24	11	46.0%
投資その他の資産	111	124	13	10.6%
総資産	1,043	1,479	435	29.5%
流動負債	192	362	170	47.1%
固定負債	4	18	13	72.6%
負債合計	197	381	183	48.3%
純資産	846	1,098	251	22.9%

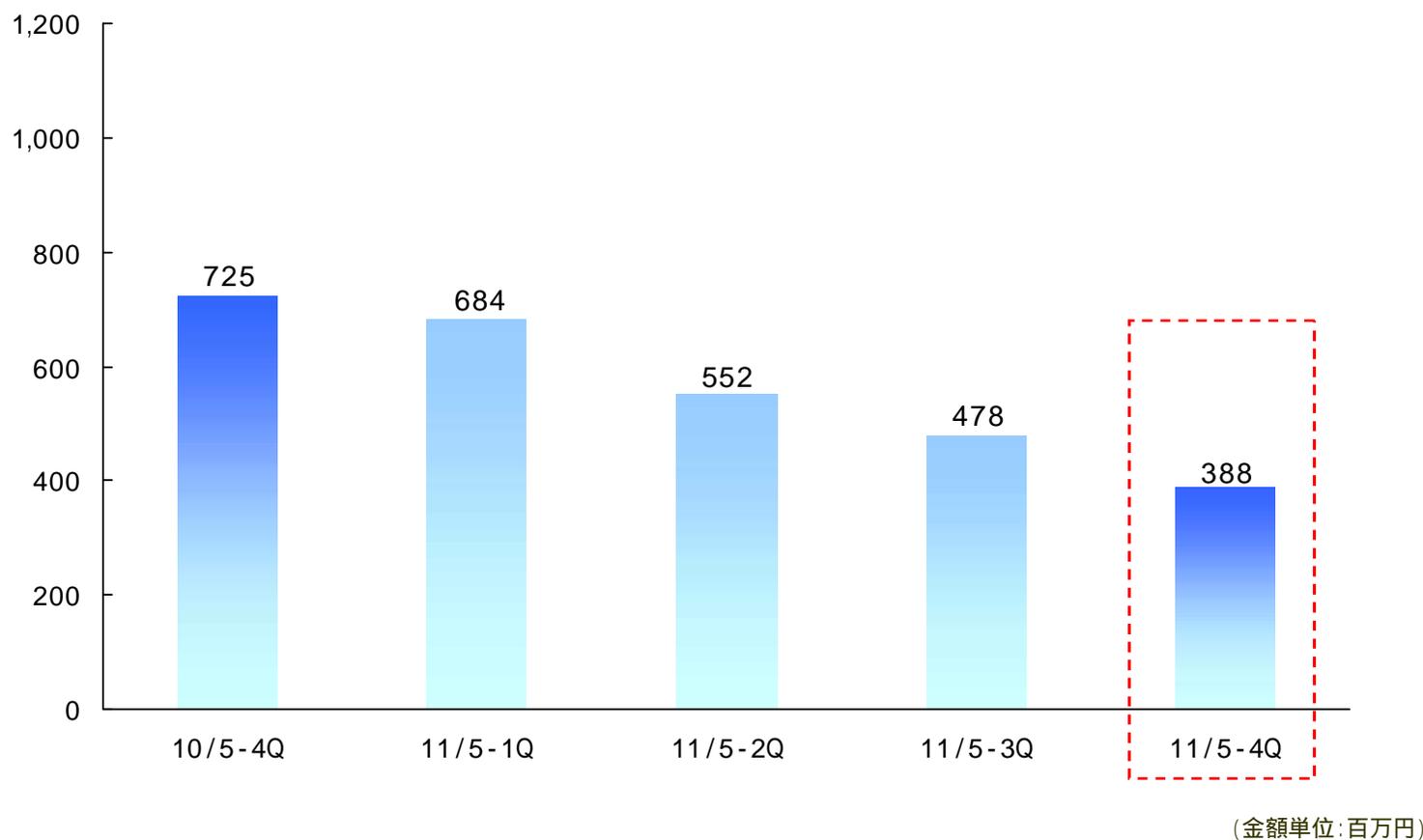
(金額単位：百万円)

営業CFの減少 127
現金及び現金同等物の期末残高 646

	実績		前年同期比
	11/5期 - 4Q (連結累計)	10/5期 - 4Q (連結累計)	増減額
営業活動によるCF	127	45	173
投資活動によるCF	57	55	1
財務活動によるCF	23	80	56
現金及び現金同等物の 増減額	212	88	123
現金及び現金同等物の 期首残高	858	947	88
現金及び現金同等物の 期末残高	646	858	212

(金額単位:百万円)

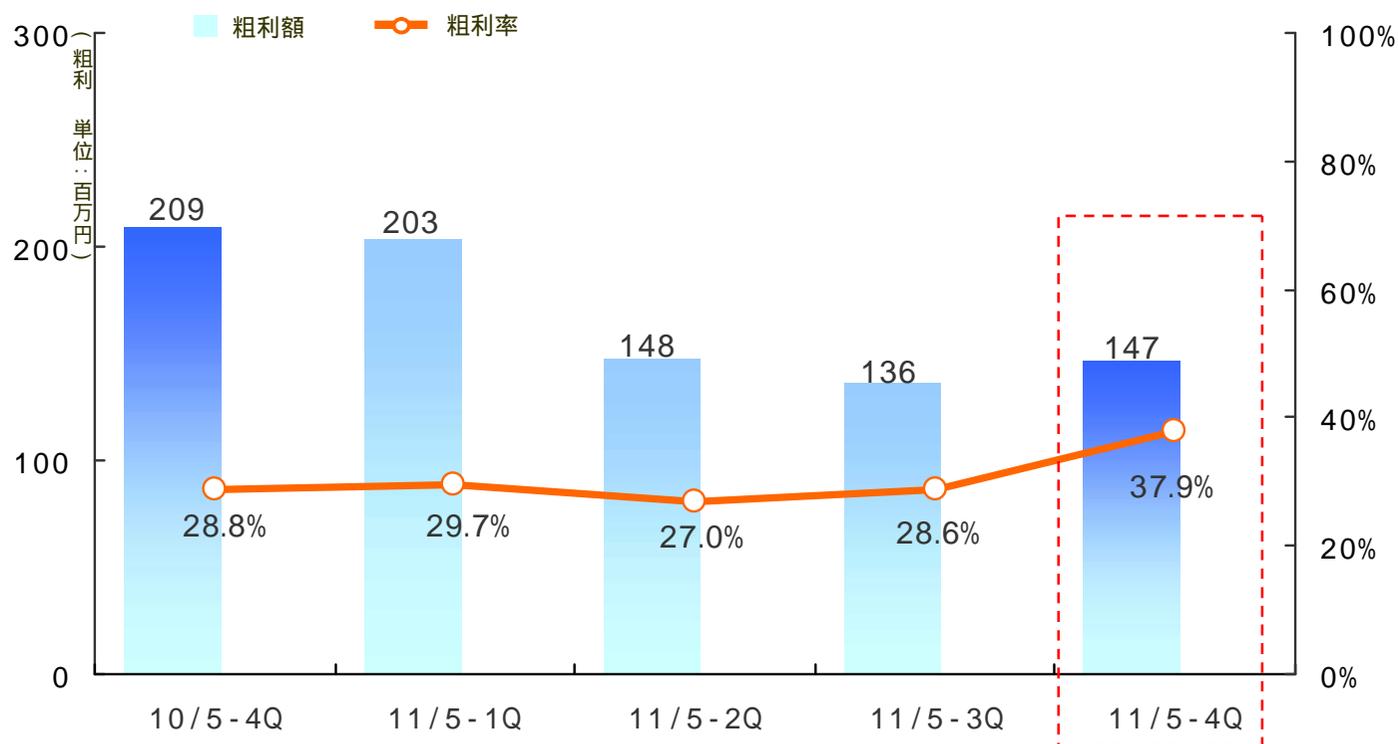
東日本大震災の影響もあり、国内における新サービスの販売低調、高付加価値サービスへの転換の遅れにより、前年同期比46.5%減(725百万円 388百万円)



3Q比較において、原価率の低い商材の販売により粗利高・粗利率が増加

・粗利高: 136百万円 147百万円

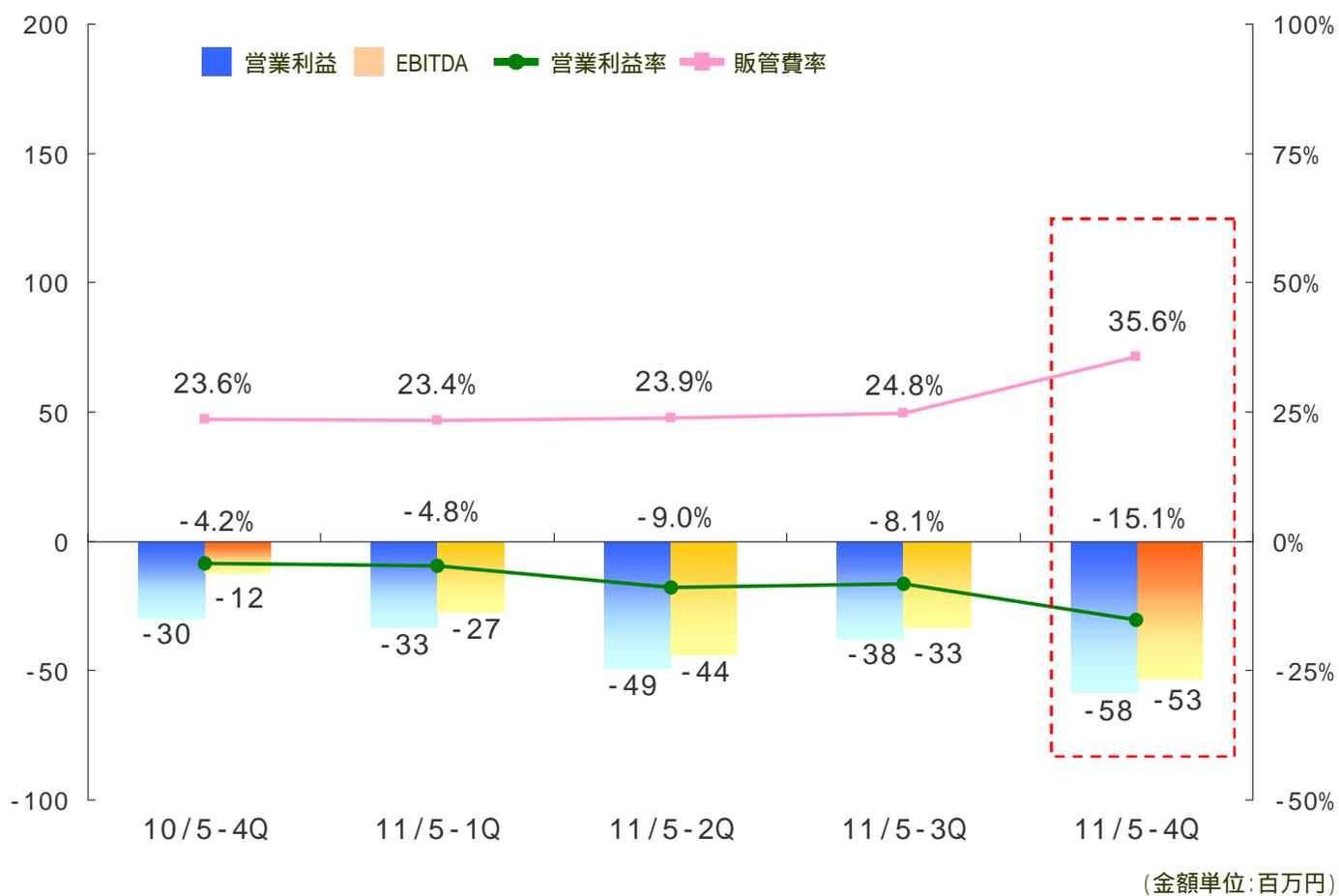
・粗利率: 28.6% 37.9%



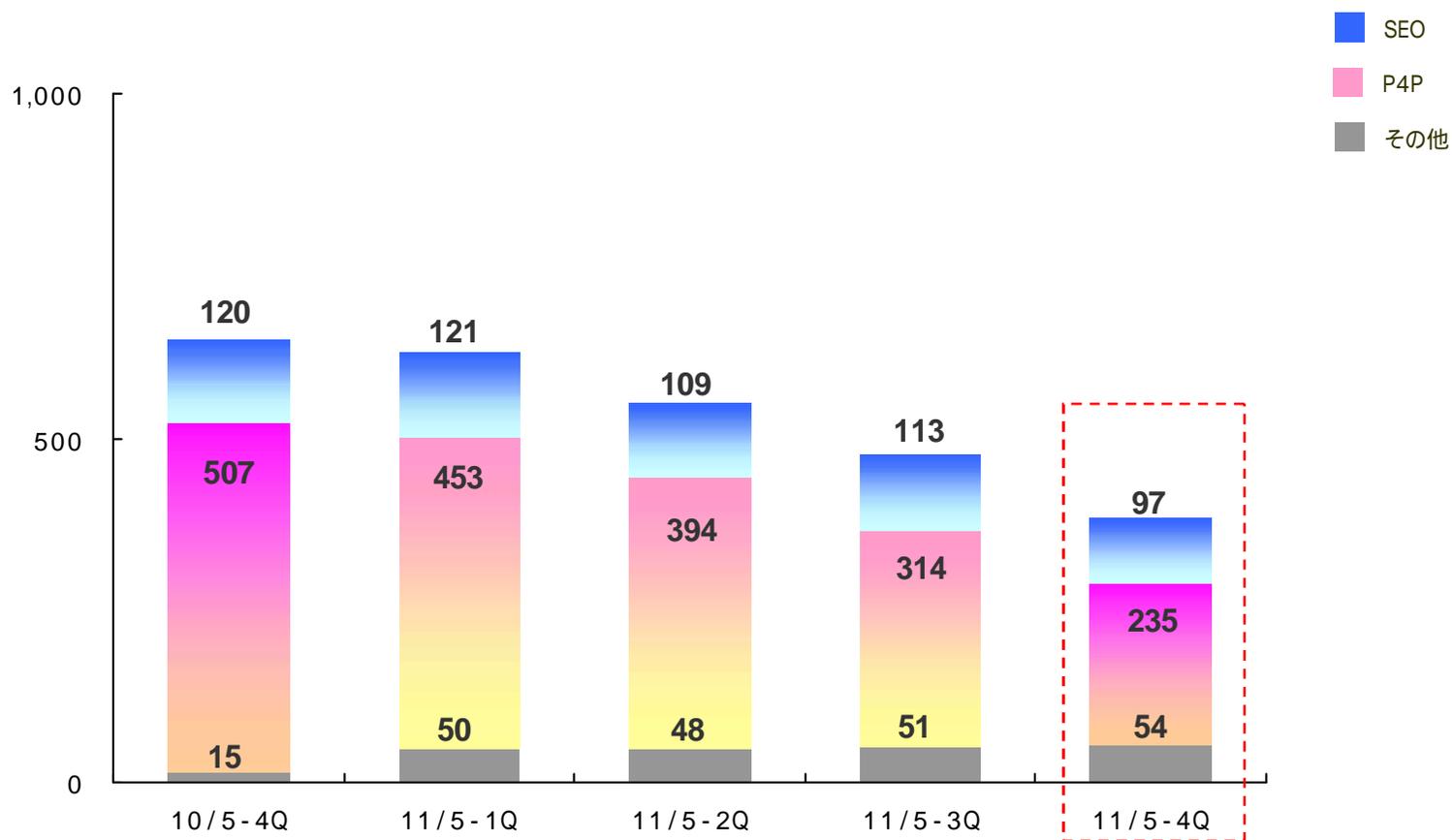
このページでの粗利は限界利益を示します。

(限界利益 = 売上高 - 変動費)

ローコストオペレーションを図るものの売上減少分を補えず、
販管費率が増加(24.8% → 35.6%)

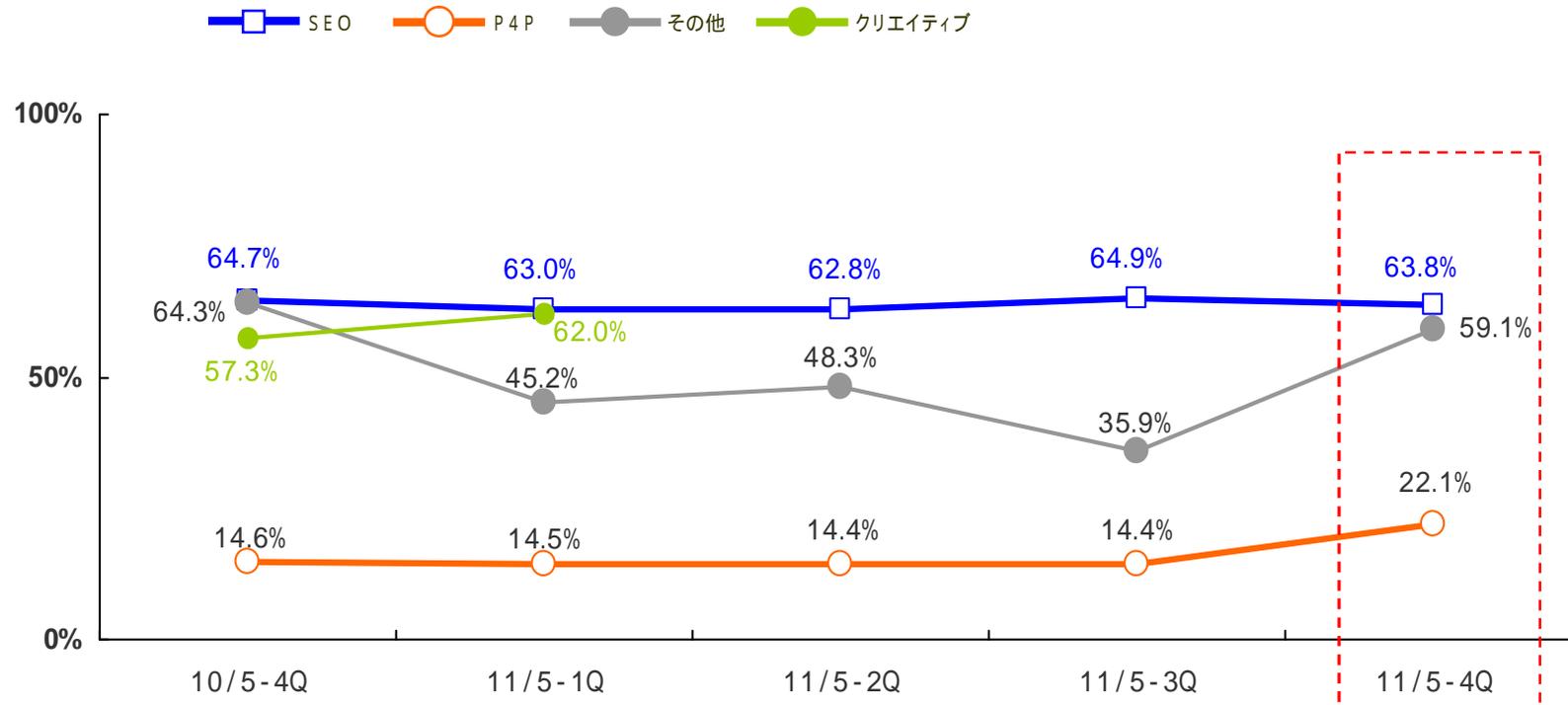


事業全体の売上高が減少するも、前年同期比において
その他売上高が堅調に推移(15百万円 54百万円)

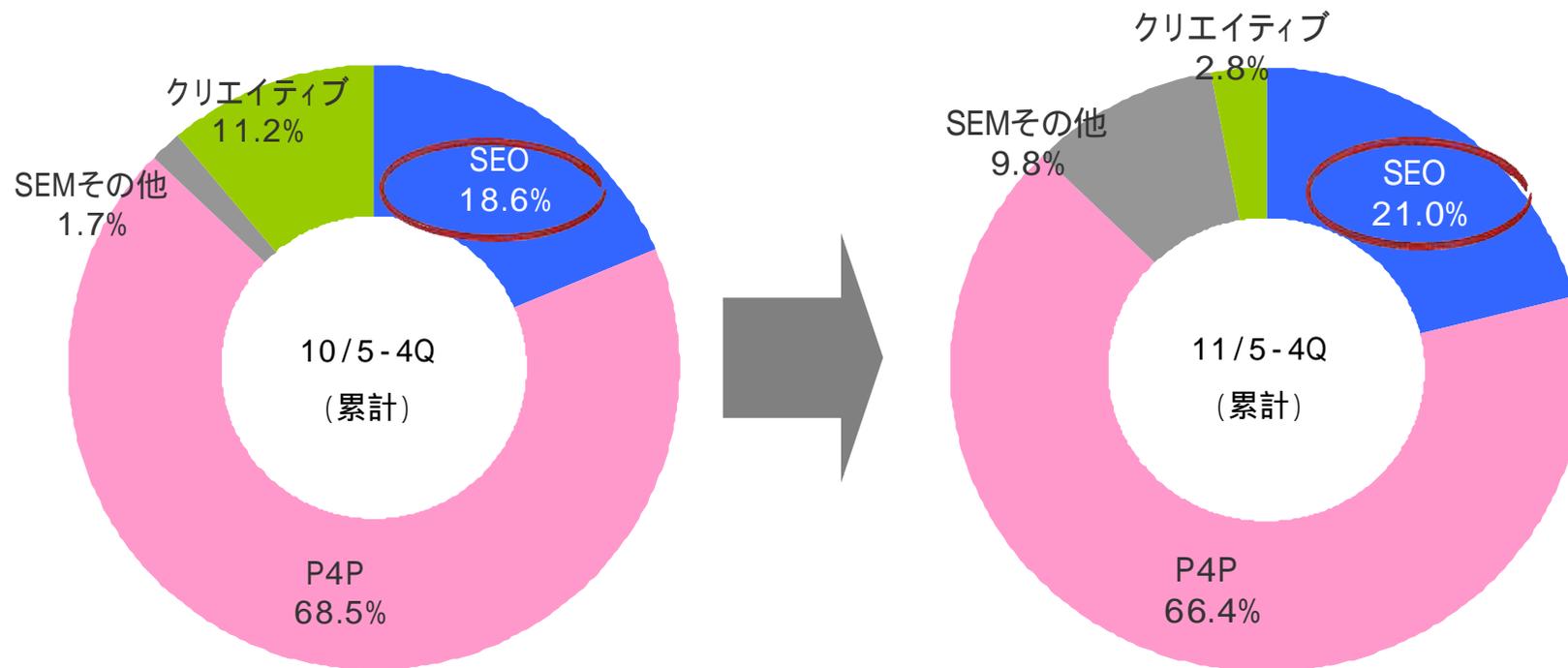


(金額単位:百万円)

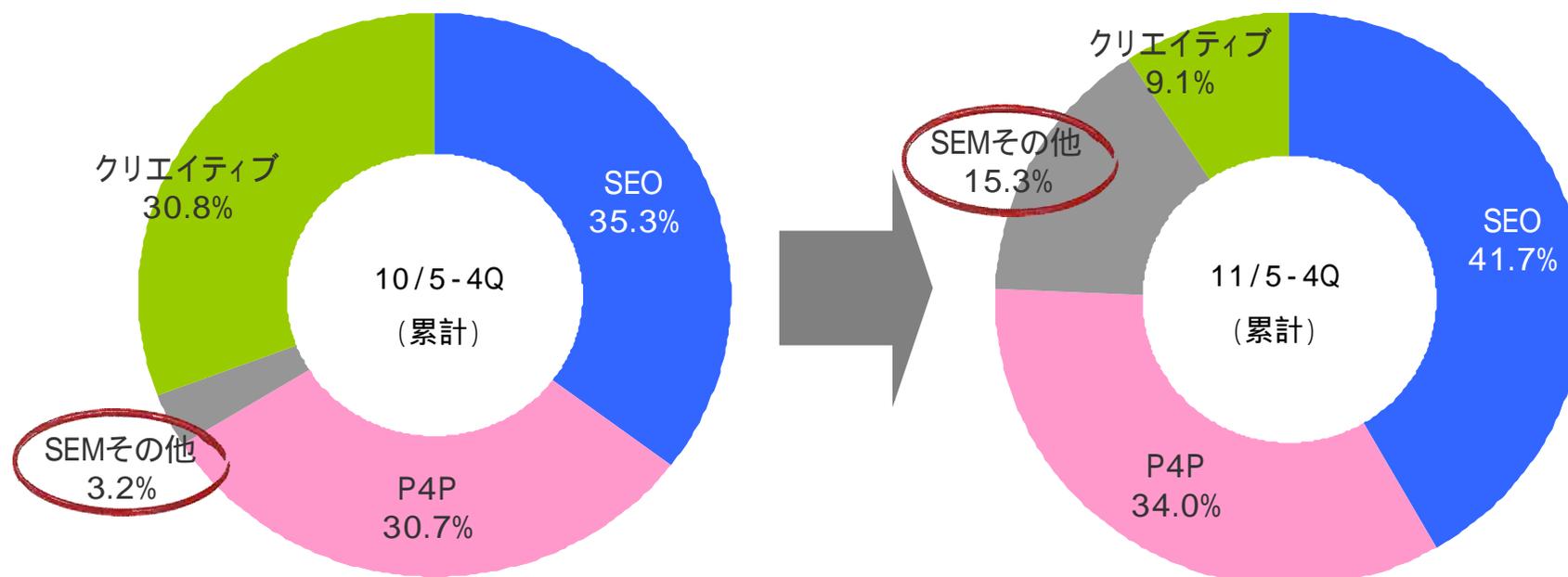
その他において原価率の低い商材の増加により粗利率が改善



利益率の高いSEOの売上構成比が向上(18.6% 21.0%)



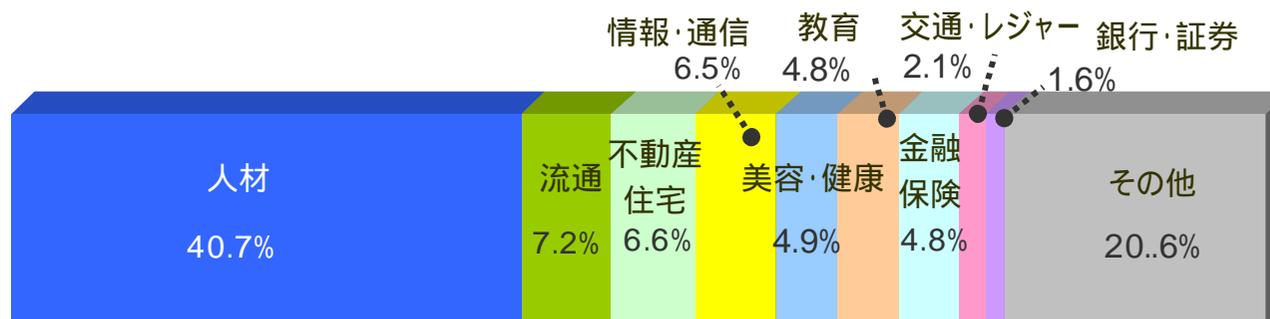
事業ポートフォリオの転換により粗利構成の偏りが軽減 (3.2% 15.3%)



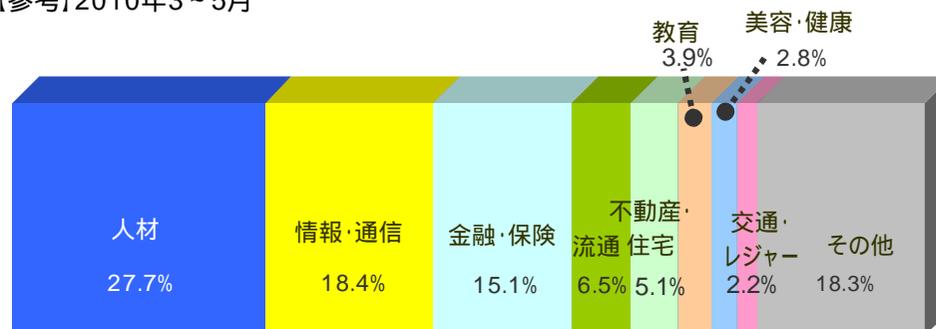
粗利は管理会計ベースの数値(売上-仕入)を示します。

業種に合わせたサービス提案を促進
 人材が好調、流通、不動産が増加
 パーセンテージは、11年3～5月における全サービスの売上高をベースにて算出

2011年3～5月



[参考] 2010年3～5月



コア商材へのリソースの選択と集中 海外拠点の収益化

第2四半期	売上高	営業損失	経常損失	当期純損失
2012年5月期 連結業績予想	723	86	87	87
前期実績 (2011年5月期)	1,237	82	83	99
増減額	514	4	4	12

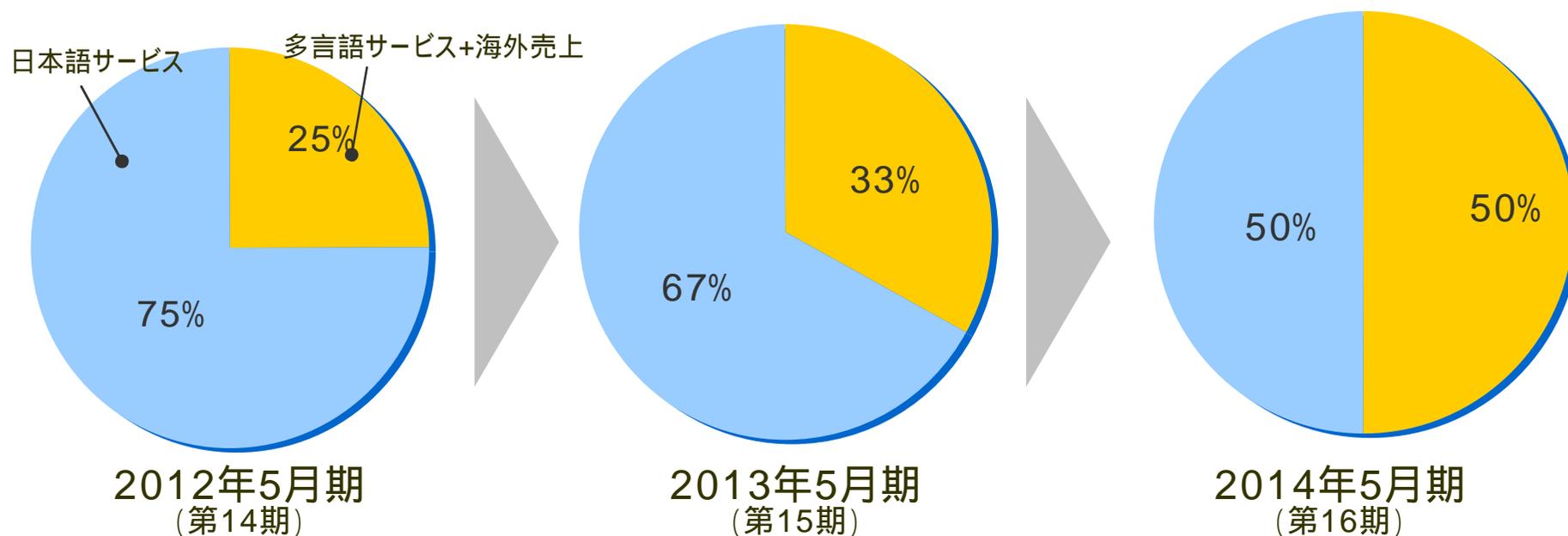
通期	売上高	営業利益又は営業損失	経常利益又は経常損失	当期純利益又は損失
2012年5月期 連結業績予想	1,616	21	21	21
前期実績 (2011年5月期)	2,104	180	182	227
増減額	488	201	203	248

(単位:百万円)

【2】今後の取り組み

事業目標 > 売上構成比の転換(多言語・海外構成比)

第13期目標: 多言語サービス+海外売上30% 9.3%と未達成
国内P4P売上が予想より伸びたことによる国内売上比率の向上
多言語サービス販売体制が不十分



多言語サービス: 多言語SEM、メディア、翻訳、クリエイティブにて提供するサービス
前期にて目標未達成のため構成比の見直しを行っております。

第14期は業績回復を第一優先とし、海外での売上増、既存商品(SEO)の販売に
リソースを集中させるため、新商品比率については、一時的に記載を省略します。

1. 業績の回復(トップラインの向上)

2. 海外拠点の収益化

グローバルサービスラインナップの拡充 他領域との連携による販売体制を強化

クリエイティブ

多言語(英語、中国語、日本語など)によるWeb制作



AES Scaffolding (Thailand) Co., Ltd.



センターポイントオフィシャルサイト

メディア

マルチリンガル旅行・生活情報予約サイト

(アジア11カ国×5言語展開予定)



日本情報/英語版



タイ情報/日本語版

ワンストップでサービスを提供

マーケティング

多言語(英語、中国語、日本語など)によるリサーチ、
販売促進(SEM、バナーなど)



コニカミノルタ



日本ユニシス

ランゲージ

64ヶ国語による翻訳、英語・中国語・
韓国語・日本語によるコンタクトセンター



東京都市大学



日本海洋

当社グループにおける実績企業例

1. 業績の回復(トップラインの向上)

リソースの選択と集中を行いコア商材に注力

完全成果報酬型SEOサービスを国内及び海外での拡販

12年間の実績を活かした高品質かつ効果的なサービスを提供

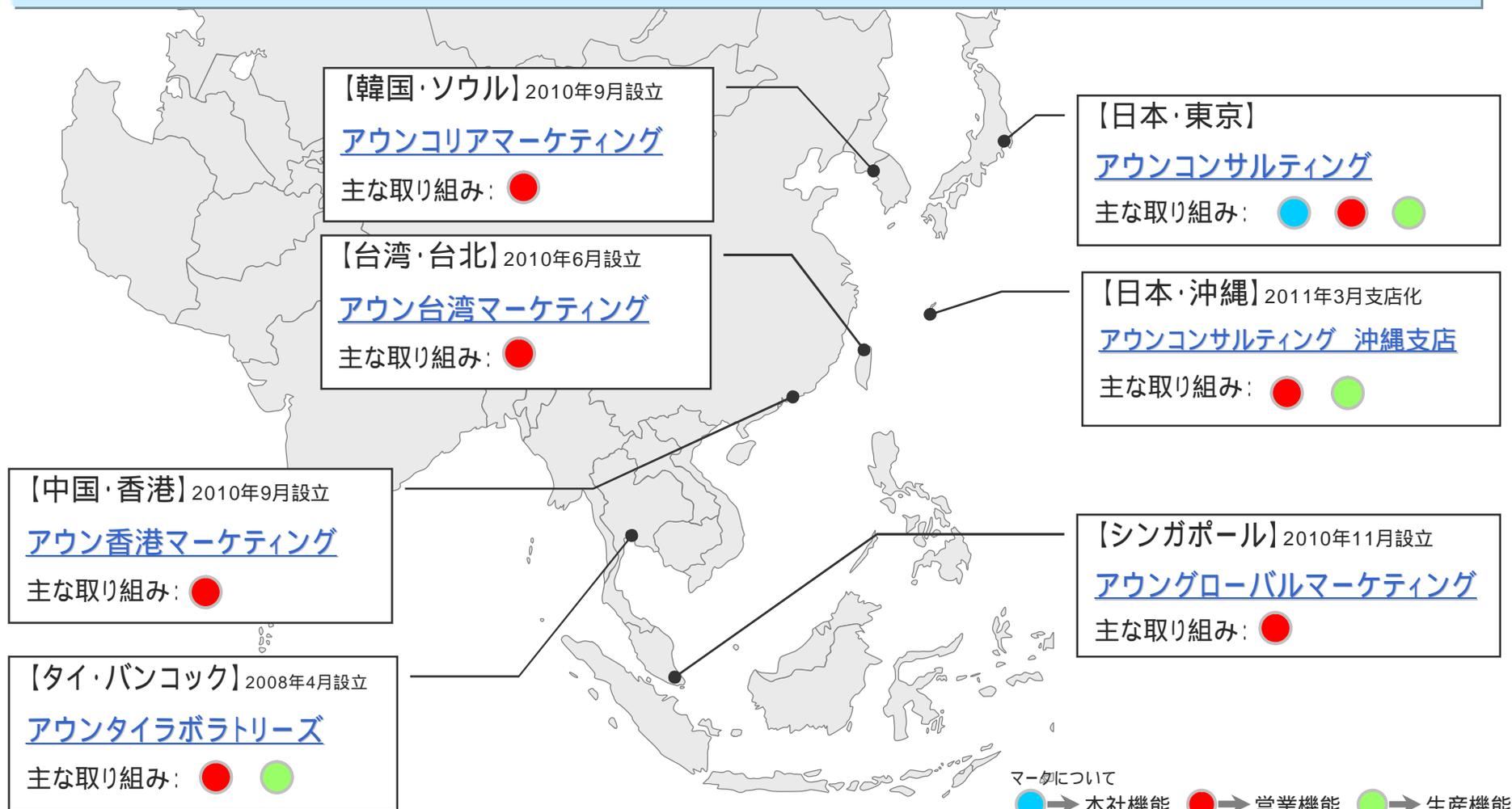
グローバルネットワークを活かした世界の検索エンジンに対応したサービスを提供

マルチリンガル旅行・生活情報予約サイト「More」の拡販

クーポン検索機能や予約機能を活用した商品の販売

旅行業登録完了により販売商品、手数料収入の拡充

アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社を支店に変更、管理体制を一本化
海外5拠点での更なる営業活動の促進



2. 海外拠点の収益化

販売商品の拡充により安定した当社グループへの貢献

「More」の販売に加えてSEM関連商材の販売開始

日本人社員を中心に国内で培ったノウハウを基としたSEM関連商品の販売

グローバルネットワークを活かした世界の検索エンジンに対応したサービスを提供

ローカルスタッフへの教育による即戦力化

商品知識等についてR&Dグループからの一斉教育を実施

ローカル企業に対して「More」、SEM関連商品の接客販売

卷末資料

多言語(英語、中国語、日本語など) によるWeb制作 クオリティの高い制作を提供



AES Scaffolding (Thailand) Co., Ltd.
コーポレートサイト



センターポイント公式サイト

主なサービス

Web制作 / デザイン
LP(ランディングページ)制作

マルチリンガル旅行・生活情報予約サイト

「More」を多言語で展開

(日本、シンガポール、韓国、台湾、香港、タイ)

豊富なコンテンツと情報量を提供



主なサービス

- Moreペイドパブリシティ
- Moreクーポン
- 予約代行サービス

従来のSEM(検索エンジンマーケティング)を中心としたプロモーションの支援を日本からアジア地域を対象にコンサルティング支援

主なサービス

- SEOマクロ(日本語/英語・中国語など)
- SEOミクロ(日本語/英語・中国語など)
- SEOランキング(日本語/英語・中国語など)
- P4P(日本語/英語・中国語など)
- iPhoneマーケティング
- ログ解析
- リサーチ

世界64ヶ国語に対応し、各分野の 専門文書に対応

高品質な翻訳を低コストかつスピーディに提供



主なサービス

- 一般文書翻訳
- 契約書翻訳
- 論文翻訳
- カジュアル翻訳

設立	1998(平成10)年6月8日
資本金	339,576千円(2011年5月末現在)
役員	代表取締役 兼 代表執行役員 信太 明 取締役 兼 常務執行役員 棚橋 繁行 取締役 兼 常務執行役員 坂田 崇典 社外取締役 藤原 徹一 執行役員 菊池 明 執行役員 長島 徹弥 常勤監査役 中谷 正史 監査役 加藤 征一 監査役 松村 卓朗
本社	東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽 2F
グループ会社	AUN Global Marketing Pte.Ltd. AUN Korea Marketing,Inc. 台湾亞文營銷事業股份有限公司 亞文香港營銷事業股份有限公司 AUN Thai Laboratories Co., Ltd.
社員数	105名[正社員のみ88名(グループ会社含む・役員含まず)](2011年5月末現在)



(証券コード:2459)

1998	6	アウンコンサルティング株式会社を千葉県松戸市に設立(資本金10,000千円)
	9	本社を福島県福島市へ移転
	10	検索エンジン関連業務(登録業務)開始
1999	10	SEO(検索エンジン最適化)コンサルティングサービス開始
2001	1	東京営業所を、東京都文京区に開設
2002	4	本社を東京都文京区へ移転
	10	SEO専門ポータルサイト「検索エンジン最適化情報チャンネル(SEO-ch)」開設
	11	検索エンジンにおける検索結果の上位表示コンサルティングサービス「SEOオーソリティ」開始
	11	P4P(検索連動型広告・コンテンツ連動型広告)販売開始
2003	3	P4P運用コンサルティングサービス「P4Pマネージャー」開始
	4	SEM専門ポータルサイト「検索エンジンマーケティング情報チャンネル(SEM-ch)」開設
2004	10	本社を東京都千代田区に移転
2005	11	東京証券取引所マザーズ上場(証券コード:2459)
2006	12	沖縄ラボ開設
2007	4	トレンドウォッチャー向けの最新情報サイト「Trend-ch」開設
	5	海外マーケティング総合情報サイト「CBM-ch」開設
	10	日本テクノロジーFast50 受賞
	12	シリウステクノロジーズ社と「モバイルSEO事業」譲渡契約締結
2008	4	沖縄とタイ・バンコックに法人設立
	6	株式会社アート・スタジオ・サンライフの株式譲渡契約締結
	12	株式会社ジーネットワークスより翻訳事業譲渡契約締結
2009	7	株式会社アート・スタジオ・サンライフをアウングローバルマーケティング株式会社へ社名変更
	9	本社を東京都文京区に移転 訪日・在日外国人向け情報サイト「Visit First」正式オープン
	11	AsiaPac Net Media Ltd.(香港)との業務提携契約締結

2010	6	台湾・台北に法人設立 アウンタイラボラトリーズのBOI取得
	8	連結子会社の異動を伴う株式譲渡
	9	韓国・ソウルに法人設立 中国・香港に法人設立
	11	シンガポールに法人設立
2011	3	アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社を解散し沖縄支店化
	4	「Visit First」を「More」へブランド名変更